

## 目標達成計画

作成日: 令和 5年 12月 24日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容(進捗)	目標達成に要する期間
1		直近3年はコロナ禍でイベントや行事の縮小。それにより地域とも疎遠になっている。自然災害などの時に地域での協力体制は必須である為、地元の人と「顔の見える関係」の構築が必要	①コロナ過による地域との疎遠を取り戻し、地元での行事等に目を向け、積極的に参加する。 ②専門職の知識を生かし地域の人が気軽に来所し相談出来るような場所作り	①コロナも5類に分類され、地域での行事も再開している。敬老会など、入居者が興味のあるイベントには参加している。 ②地域の眼鏡屋さんに来ていただき、眼鏡の調整や洗浄をして頂いた。	6ヶ月
2		家族様と情報の共有を密に行うための活動報告は約6か月に1回程度の発行になっている。	2ヶ月に1回の運営推進会議録を家族様全員に送付。その際に個人の写真付きのお便りを同封する	2ヶ月に1回の運営推進会議録を家族様に送付している。その際には個人の写真付きのお便りを同封しているが、全世帯ではない。	6ヶ月
3		急変や事故発生時のマニュアル・災害対策の周知徹底が弱い	①スタッフ会議などで定期的に理解を深めるための研修を実施する。 ②定期的な訓練の実施	①感染症や災害・防災についての研修や訓練を実施した	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。